

京浜の森づくり事業 協働緑化の取組 概要版



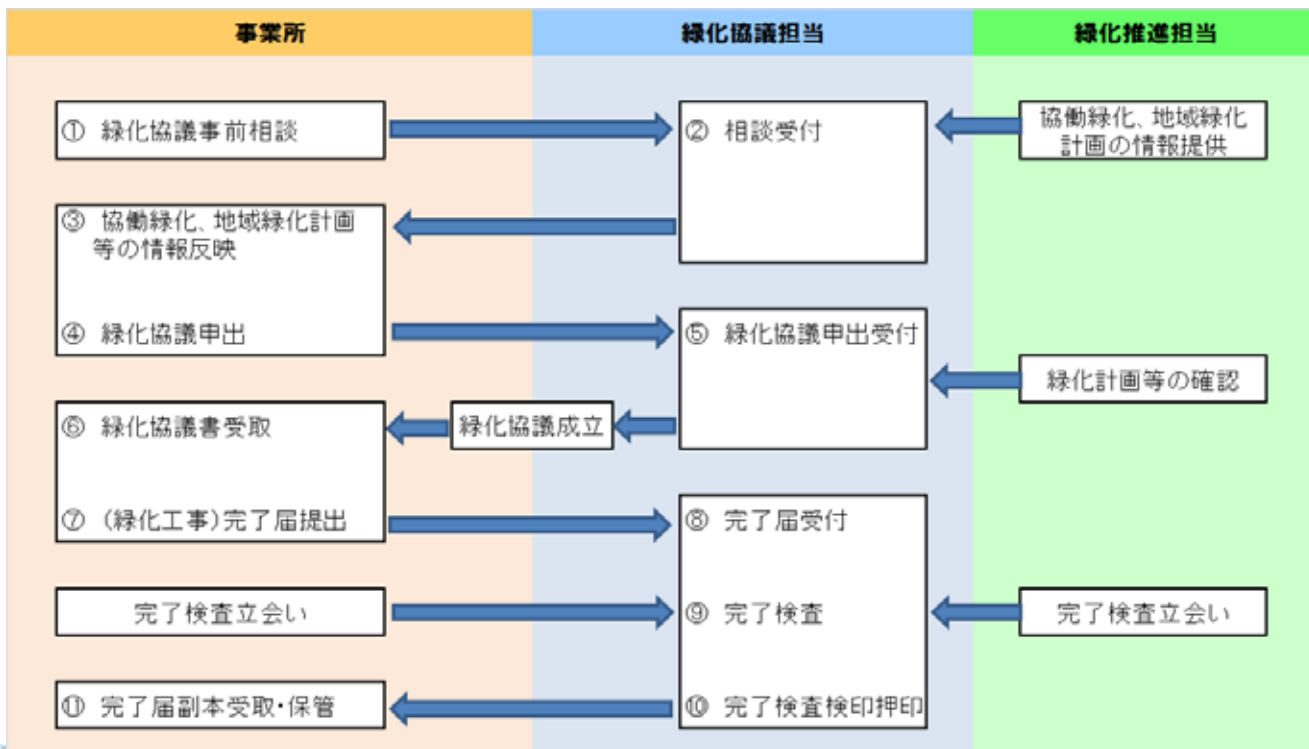
横浜京浜臨海部に立地する企業の方々へ

本事業では、新たな研究開発拠点として発展している横浜京浜臨海部で、緑豊かな環境づくりを進めています。工場・事業所等の緑地を地域の環境財としてとらえ、公共の緑や水辺の自然を有機的に結びつけることにより、企業、市民、行政が協働して緑の拡充・活用を推進しています。

緑地の設計等を行っていただく際には、この「協働緑化の取組」を参考に、魅力ある緑地の創出にご協力をお願いいたします。



横浜京浜臨海部の緑化協議手続の流れ



生麦新子安地区と末広地区には「地域緑化計画」が定められています

新たに進出される事業所におかれましても、既存の地域緑化計画の方針へのご理解をお願いします。

生麦新子安地区の方針	末広地区の方針
協働により沿道の緑化・美化を進めます 歩いて楽しい緑を増やします 橋等から見える身近な水辺を緑化します 地域交流の場として緑の活用を図ります 貨物線の森緑道の整備・地域緑化活動を進めます	地域景観・緑の骨格となる沿道を緑化します 身近な水辺等の緑化を推進します 水際・駅前などを地域交流の場として公開します 健全な土壌と緑でエコアップを推進します 市民植樹・自然観察会など協働緑化を推進します



緑地の配置と設計のポイント

緑地が周辺地域においてどのような位置づけになるのか
緑地にどのような機能が期待されるのか を勘案して計画しましょう。



緑地の機能の解説

名称	機能
修景	通勤者や来訪者などに地域を印象づける、ボリュームと連続性のある緑地をつくります 企業のイメージ形成やPRに役立つ、季節感やインパクトがある緑地をつくります
活用	従業員のレクリエーションや来訪者へのサービスの場として利用される緑地をつくります
エコアップ	多くの動植物種の生息・生育を目指す緑地をつくります
防災	延焼防止や避難等に備える緑地をつくります
環境保全	二酸化炭素の吸収の促進、ヒートアイランド現象の緩和、海風の導入を目指します
公開緑地	企業のPRイベントや市民等が参加する環境教育などのイベント時に緑地を公開します 見晴らしの良い場所などを、市民が日常的に利用できる民設の公園として公開します

注 表中の「緑地」には池等の水域を含みます。エコアップ：自然環境の回復・改善・創出を意味します。